

# 参加者にインタビュー

## 古里ほど良いものはない



東京都江東区  
阿部 泰助さん (75歳)  
〔田の浜地区出身〕

遠くに暮らしていて、古里ほど良いものはないと感じます。私は18歳で山田を離れて以来、築地の市場でマグロ一筋に仕事をしてきましたが、古里のことは忘れたことはありません。と

ときどき潮風薫る海の風景を思い浮かべては、郷愁の念にかられます。築地には現在、山田町出身の若い人たちも大勢働いていますが、みんな実に親孝行。古里のことが好きで、とても大切にしています。

## 懐かしい友との時を満喫

東京都葛飾区

内田トモ子さん (61歳)  
〔中央町出身・旧姓佐々木〕



友人からこの会のことを聞き、同郷の皆さんの顔が見たくて今回初めて参加しました。同級生もたくさん出席しており、中には中学校を卒業して以来数十年ぶりに再会した友人もいて、とても感激しました。山田には3年に1度くらいしか帰っていないのですが、今日は古里の空気に触れ、楽しい時間を過ごすことができました。

## 自然豊かな山田に誇りを



神奈川県横浜市  
森 蝶子さん (63歳)  
〔八幡町出身・旧姓湊〕

これからの時代、地方の活躍に期待が寄せられています。山田には豊かな自然があり、そこには観光や産業を発展させるだけの大きな力を秘めていると思います。古里の皆さんには、自然豊かな山田に誇りをもち、その自然を大切にしてほしい。

そのため、例えば海を守るためには山や川の保全が大切であるというような環境についての知識を、子供たちに教えていくことが大切なのでは。そして、豊かな自然をいつまでも引き継いでいってほしいですね。



①



②



③

①物産販売で古里の味を次々に買い求める参加者②懐かしい友人との再会に話も弾みます③今年もユニークな踊りを披露してくれた隅田川かっぱれ七子ノ会④山田の花火大会への募金にはたくさんのご協力をいただきました⑤毎年この会を楽しみに集まるといふ「Y S 22年の会」の皆さん

ただき、感謝申し上げます。岩手県内での市町村合併をめぐる動きもひとまず落ち着き、わが町も当面自立の道を歩むということで頑張っております。どうぞこの地から山田町へのエールを引き続き送っていただくことをお願い申し上げます」と述べました。

その後、平成20年度の事業報告や本年度の事業計画が審議され、原案どおり承認されました。総会終了後の「懇親交流のつどい」は生駒利治町議会副議長、乾杯の音頭で幕が開け、参加した皆さんはほろ酔い気分でした。

い出話に花を咲かせていました。アトラクションではふる里会幹事も所属する隅田川かっぱれ七子ノ会による「かっぱれ踊り」などが披露されたほか、特産品が当たる抽選会も行われ、場内は大いに盛り上がりました。

2時間という短い時間ででしたが、参加した皆さんは同郷の皆さんとの交流に満足した様子。出身地区ごとに、それぞれの小学校の校歌が流れる中で記念撮影を行った後、最後に「北国の春」を参加者全員で歌い、来年の再会を約束しつつ会場を後にしました。